

平成 29 年 7 月 1 日 市政ワークショップ 全体での共有

テーブルでどのような話があったかを発表していただきました。発表したいテーブルの方のみですので、全テーブルからではありません。

- ・ 町内会で 2 台の防犯カメラを設置されているところがあった。防犯カメラの設置も有効だとは思いますが、プライバシーや金銭的な問題もあるので、防犯カメラを設置する前に、まず、気軽にできる近所の方とのあいさつや声かけをするべきではないか。
- ・ 防犯カメラの設置はみなさんの同意を得ることが難しい。
- ・ 防犯カメラ設置よりも、近隣の人との交流の方が犯罪は防げるのではないかという結論になった。
- ・ 交番の削減によって治安がすごく悪くなったため、青色パトロールが発足している連区があった。今後はそのような形の防犯も必要ではないか。
- ・ 集合住宅などで外国人や若い方を孤立させてはいけないとは思いますが、どうコミュニケーションをとればよいかわからない。
- ・ 町内の行事や祭りに積極的に誘ってはどうか。日頃からの声かけが非常に大切になってくると思う。特に近年、外国人が多くなってきており、ほとんどの人は日本語を読めないし、書けないので、ちょっとしたゴミ出しや買い物も、実は困っていることが多いのではないかと思う。「何か困っていることはないか」など声かけしてみてもいい。
- ・ 地域のまとまりが一番大事ではないか。そのためには、きっかけづくり、コミュニケーションづくりとして、公園の清掃、地域住民でのあいさつ運動、公民館活動などが必要ではないか。
- ・ 自助、共助を大切にしていかなければいけない。
- ・ 一宮市は侵入盗「ワースト 1」ということをアピールすることは、ドロボウが入りやすいと宣伝しているようなものという意見もあったが、「ワースト 1」ということが市民への危機意識を促す面もあるということにも気が付いた。